

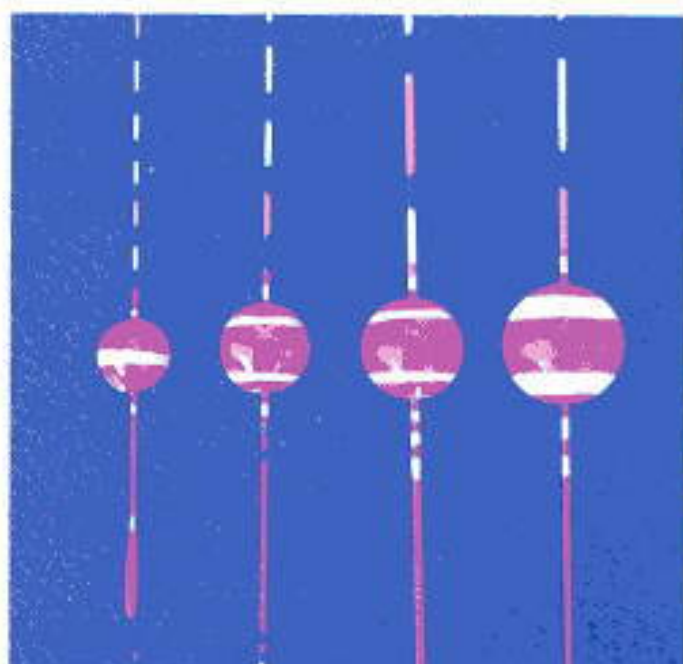
図-④エサ落ち目盛の違いによる  
トップのもどり方

い分けを述べておこう。  
●タナー1m前後の釣り 全長15cm、トップ10cm、直径10mm玉のボディ  
●13尺いっぱい 全長35〜42cm、トップ26〜23cm、直径15mm玉のボディ

●15尺いっぱい 全長50cm、トップ30cm、直径20mm玉のボディ  
「今後もテストをくり返して、納得のいくかんざしウキを目指したいと考えています。やはりポイントになるのがトップと足の長さ

さのバランスです。この微妙な所でウキの立ち方、安定性が決まってくるからです。かんざしウキはそのスタイルから、なかなか釣り人に受け入れられにくい面もあると思いますが、ともかく一度使ってみればその効果がハッキリ分かると思います。

これは球形のうえ、センターに穴があいているので、慣れない人も簡単にいいウキができます。トップの長さ、足の長さについては研究課題としていろいろ変えてみるとおもしろいと思いますね」  
アタリが大きく、しかも風や流れに強いかんざしウキ。来年はちよつとした話題になりそうな気がするウキである。



ボディ部は発泡スチロール製。手軽に作れる